

第5号様式（第6条関係）

綾瀬市立北の台中学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第3回 北の台中学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和5年2月9日（木）		
開 催 時 間	15時30分 ～ 16時30分		
開 催 場 所	北の台中学校 図書室		
議 長	会長		
出 席 者	会長、副会長、コーディネーター 校長、総括教諭		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	なし
会 議 の 内 容			
【議題】 1.開会 2.会長挨拶 3.校長挨拶 4.議事 ① 学校関係者評価について （ア） 学校関係者評価報告書についての報告 （イ） 学校関係者評価報告の結果による改善策 ② 今年度の成果と課題 ③ 制服リサイクル活動についての活動状況 5.その他 今年度のお礼 6.閉会			
（主な意見・決定事項など） 議事 ① 学校関係者評価について 保護者の回答数減少について 本年度、Webでの入力にしたことが影響したと考えられるため、次年度は呼びかけの仕方など工夫していきたい。 学校関係者評価については、Webでの回答にしたことで、保護者からの回答数は減ったとのことだが、学校としての負担が減少したのであれば、			

価値のある取組ではないか。生徒の育成に直接的にかかわらない部分はどんどん軽減し、その分生徒の育成に注力して欲しい。

学校関係者評価の結果から北の台中学校の生徒は8～9割が満足しているという結果が出ているが、それを良しとせず、不満足であるという生徒がいるという現状の改善に取り組もうとしているのは良い。大多数がよければ良いとしてはならない。継続して支え、寄り添っていく必要がある。生徒が教員のことを信頼しているのは北の台中学校の良き伝統だと感じる。

密を避けるという視点から授業参観は授業参観週間としているが、今後は検討の余地がある。

基本的な生活習慣や家庭学習に関して生徒一人ひとりの豊かな個性に対応するために学校だけではなく、家庭の力も必要だと感じる。基礎基本の定着も含め、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいきたい。

支援が必要な生徒にとって「取り出し支援」があることは学校に行ける生命線ともなりえる。たとえ人数が少なくとも、そういった仕組みをこれからも大事にして欲しい。

別室での支援も大切な視点だが、日常的な指導の方法でサポートしていくという視点も大切であり、それぞれの先生ができる支援を考えることも必要。今年度、フォントをユニバーサルデザインのものに変更したことも良かったのではないか。

コロナ禍で、児童・生徒も以前より人と接する機会が減ったことが影響しているのか、地域の人とのふれあいに慣れていない様子も見られる。学校だけではなく、地域・保護者と連携して「隙間のない見守り態勢」を作っていけたら良いと感じる。

地域との連携については学校側にも積極的に地域とかかわる工夫があると良い。例えば、地域の行事がある際には、部活動の予定を配慮して、子供たちが地域の行事に参加しやすい環境をつくることや、地域の情報発信をしていくといった取組はどうか。

② 今年度の成果と課題

成果

- ・第2回での熟議を通して、本会議の方向性を決めることができた。
- ・制服リサイクル活動を計画し実施に運用することができた。

課題

- ・今後は、ますます学校と地域でWIN-WINとなれる活動をして行けると良い。

③ 制服リサイクル活動について

11月：相談

12月：制服リサイクル活度の協力者を選定・募集

1月26日：第1回収。 (2着 上下服1着、夏服1着)

2月 6日：第2回収。 (2着 地域1着、学内1着)

今後の課題

もらって喜んでもらえる状態のものを回収したい。

より多くの制服を回収できるように周知、情報発信をしていく。

3月に第1回の譲渡会を予定していたが、延期して回収日を再度設定する。

3年生卒業時に制服の提供を呼びかける。

その他

地域コーディネーターによる「コミスクだより」をお便りとして発行できたらと考えている。

【配付資料】

- ・学校関係者評価報告書
- ・令和4年度グランドデザイン

次回開催予定

—